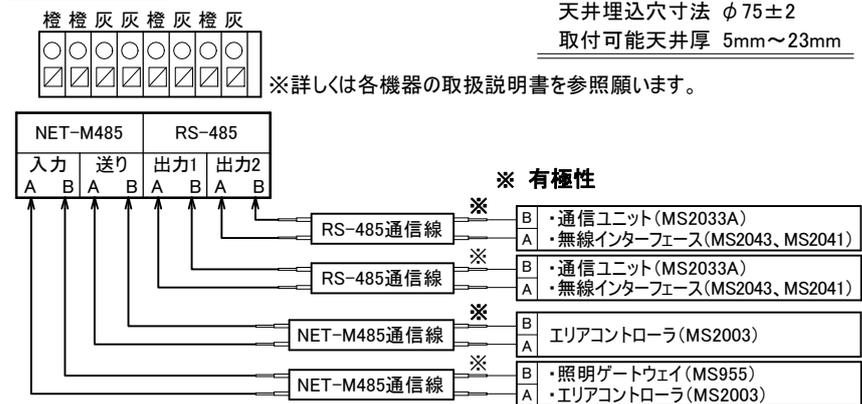


緑色LEDランプ: 点灯通電中  
赤色LEDランプ: 異常時点灯又は点滅

## 通信線接続図



- 照明器具は必ず当社製通信機能付連続調光器具をご使用ください。
- 照明器具は必ずアース接地を実施してください。
- 電源は専用回路としてください。
- 屋内でご使用ください。(断熱施工不可)
- 接続電線

線種	最遠配線長	総配線長
電源線	VVF3 $\phi 1.6\text{mm}$ , 2.0mm	—
通信線 (※1)	CPEV, FCPEV $\phi 0.9\text{mm} \times 1\text{P}$	100m
	CPEV, FCPEV $\phi 1.2\text{mm} \times 1\text{P}$	200m

(※1) CPEV, FCPEV (0.9mm, 1.2mm  $\times$  1P) 以外は使用不可。  
FCPEV線を使用する場合は、アルミテープの接地工事は不要です。  
複数のCPEV-S線を使用して接地工事を行う場合は、系統毎に1点接地を実施し、別系統のCPEV-S線のシールドと連結しないでください。  
別系統のCPEV-S線のシールドと連結すると、通信が相互干渉し、通信できなくなる場合があります。

- 接続電線は動力線・高圧線との近接や束線を行なわないでください。  
接続電線と動力線・高圧線が平行する時の  
離隔距離は右の表に従ってください。
- RS-485通信線、NET-M485通信線は極性があります。  
上記、通信線接続図の通り接続してください。
- PC設定器で設定操作を行った後、3分間電源をOFFしないでください。
- 制御台数

平行する動力線、高圧線条件	離隔距離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他の高圧電力線	600mm以上

エリアコントローラ	5台 (照明ゲートウェイに接続できる台数)	
通信ユニット	10台 (エリアコントローラ1台あたり) 各通信ユニットに接続できる端末器は60台	
無線インターフェース	1台 (エリアコントローラ1台あたり)	
PC設定器	1台 (エリアコントローラ1台あたり)	
端末機	照度センサ	160台 (エリアコントローラ1台あたり)
	人感センサ	160台 (エリアコントローラ1台あたり)
	壁スイッチ	1~4L: 160台 (エリアコントローラ1台あたり) / 8L: 80台 (エリアコントローラ1台あたり)
	通信機能付照明器具	600台 (エリアコントローラ1台あたり)

## 10. 制御点数

グループ	509 (エリアコントローラ1台あたり)
シーン	31 (エリアコントローラ1台あたり)
大グループ	31 (エリアコントローラ1台あたり)

## 11. 仕様

電源	AC100V~AC254V 50Hz/60Hz
消費電力	2W
NET-M485通信	$\pm 3.3\text{V}$ 、有極性、38Kbps
RS-485通信	$\pm 3.3\text{V}$ 、有極性、200Kbps
使用環境	温度5~35°C / 湿度85%RH以下結露しないこと
使用場所	屋内 (但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、 腐食性ガス、振動、結露の恐れのない場所)

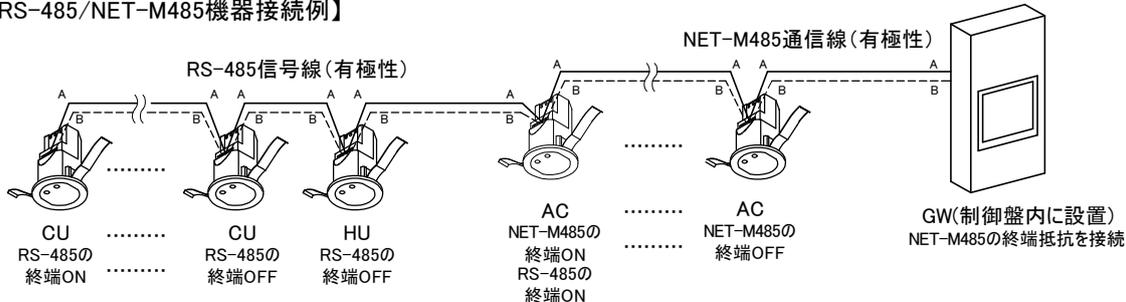
・機器接続  
・アドレススイッチ設定 (EY19732) を  
必ずお読みください。

検認	8					メルセフNET F 制御システム	
岩坪	7					エリアコントローラ	
	6	カバーパネル	PC	1	グレー	形名	MS2003
照査	5	電源端子台カバー	ABS	1	ホワイト	ワット数	2W
	4	通信線端子台		1		質量	0.25 kg
柴田	3	電源端子台		1		図番	EY19731-G
	2	取付パネ	SUS304	2			
大澤	1	本体	ABS	1			
	品番	品名	材料	数	備考		

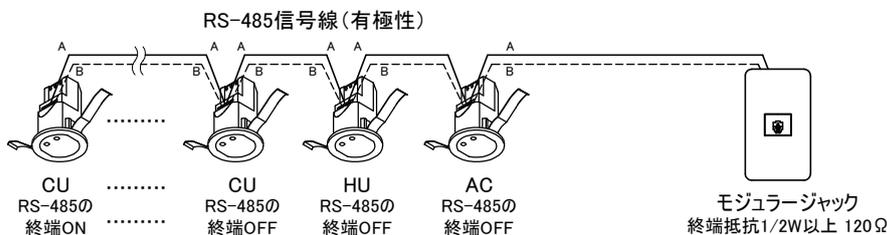
## 1. 機器接続

- NET-M485、RS-485の通信線は共にバス配線とし分岐配線しないでください。
- NET-M485終端はNET-M485通信線末端のACのみ終端用アドレススイッチをONで照明ゲートウェイには終端抵抗を接続してください。
- RS-485終端はRS-485通信線両端の機種のみ終端用アドレススイッチをONにしてください。  
※ 但し、RS-485通信線に設定用モジュージャックを設置し、設定用モジュージャックが終端になる場合は、設定用モジュージャックに終端抵抗(1/2W以上 120Ω)を接続してください。
- 機器接続時に行う、終端設定例を下図に示します。必ず両端になる機器は終端設定を実施してください。

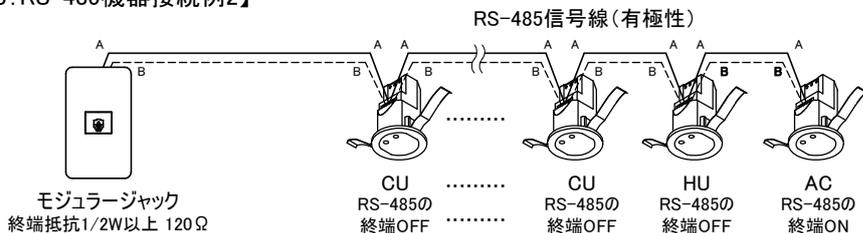
【図1: RS-485/NET-M485機器接続例】



【図2: RS-485機器接続例1】



【図3: RS-485機器接続例2】



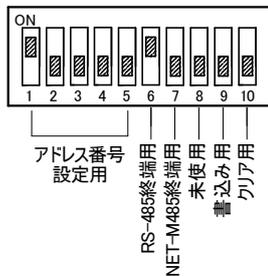
## 2. アドレススイッチ設定

- アドレススイッチ設定を変更する場合は、カバーパネルを外して行ってください。
- アドレス番号設定は下記のアドレス番号設定表を参照し、アドレススイッチ「1」～「5」で設定してください。  
※工場出荷時のアドレス番号は、1 に設定されています。

<アドレス番号設定表>

アドレス番号	アドレススイッチ				
	1	2	3	4	5
1	1	0	0	0	0
2	0	1	0	0	0
3	1	1	0	0	0
4	0	0	1	0	0
5	1	0	1	0	0

<アドレススイッチ>



検認

岩坪

照査

柴田

設計・改定

大澤

- 同一の照明ゲートウェイに接続するエリアコントローラのアドレス番号は重複しないように設定してください。
- RS-485終端を設定する場合は、アドレススイッチ「6」をON側にしてください。
- NET-M485終端を設定する場合は、アドレススイッチ「7」をON側にしてください。
- アドレススイッチ「9」「10」がOFFであることを確認してください。

※アドレススイッチとリセットスイッチ以外の電子部品には触れないでください。

メルセフNET F 制御システム

- 機器接続
- アドレススイッチ設定

形名 MS2003

図番 EY19732-D